838
297
116

浅野
井川
前波
小栗
村上
水野
井戸

青山
保科
矢野
山科
渥美
高田
熊谷
高畠

八木
酒井
立入
今立
加藤
山上
戸田

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

根岸信輔氏寄贈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

女子　岩澤平人師　遠吉毒

為貞　源三郎
母同姓丹波守光秀女
生江名伊香郎　永正十五年戊午九十山本山役為岩澤平人師遠吉死亡其成

重貞　源十郎　母同
生同前　兄同死亡

某　布施次郎　大道昌椿
為布施氏嗣

光重　横山三郎　和泉守
為横山和泉守嗣相續　重氏　和泉守

光秀　礒野四郎　丹波守
生江名伊香郎
永正七年九月十日属兄貞吉於丹波和城尽戦功得首級同十六年之所
属浅井備前守久政幕下天文六年八月丁酉辛

秀時　礒野小四郎　永正十五年戊午九月十日江名山本山軍死亡
生江名伊香郎

女子　礒野[illegible]　源三郎為貞　源十郎　重貞母

女子　浅井丹波守　政澄妻

秀春　千田[illegible]　為千田能登守貞直子
生江名伊香郎

女子　田邊[illegible]郎　吉明妻

秀常　礒野三郎　某　礒野三郎　[illegible]
生江名伊香郎　生江名

任千京徳武戒守高秀

女子

為京徳越城寺高嶋侍子

秀昌　磯野伊勢門　母伯守

生江右伊香郡

為武井下野寺先政為伊香郡伏和山城主天文年中江右四十九院合戦為先鋒

大将令戦功元亀元年五月江右野川役為先軍大将奮戦

天正年間備前寺七郎為信長生害由是失所領而親居于江右伊香郡磯野

光豊　磯野大炊門　掃部

母千田寺女正員直子

天文四年乙卯生于江右伏和山城元亀元年抜野川役御軍功減舟七郎元後父秀昌実

親居于江州伊香郡磯野其後以為取見将近一族住三州池知鮒乱後退身

文禄年旅結城而仕于秀康居賜米也五百石慶七五年度之野州中山徳行

為旗奉行同年冬加五百石合千石越前入部時賜三千石長松院殿上也

其後有故切腹

一　女子　阿閦藤平郎　妻

二　女子　井口　寺女

三　昌近　磯野隼人

四　政昌　磯野伊勢門

吉同　兼成　大炊門　名見守　勘解由門

慶長二十年乙卯正月以来病出于忠昌君同年四月大坂役為番頭賜

千五百石正保元年乙酉十二月阿属出時之移跡前松邑為成光

吉信　千石基大炊門　源太郎門

父吉同賜加族之處賜之吉信信頼也為忠昌主側詰正保元年父同阿属

松田庆為番頭明暦二年丙申加三百石為成光

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

女子　　文

吉治　宇之卿　宇左衛門　妻　京都福島左衛門女

延宝四年春以家病四男賜三百五十石而物領貞千元年子番頭同年以病

治直　石之卿　儀之主　迄四郎　多宮　妻　西尚傳左衛門女

元禄十年廿七日迄留同年内領同十五年番以宝永五年子実体相務且

祖父勘解由次子付者以名別之命目加百石寺伝七年初妻者後加

百石同上年和宝四主福井移徙宇治主時留寺役加五石合二百五十石

同澄　万之卿　大吉　無貳　妻　田丹五郎之利以女

元禄上年廿七日迄留後膳番実行以差得目

女子　　文

方之卿　文

宇之卿　文

女子　　文

杉谷廣善寺　妻

毛利治部左衛門　妻

同寛　友次郎　[illegible]内

実横田左衛門尚時男

同方　百之卿　[illegible]　[illegible]伴左衛門

実無貳男

妻　高橋伴左衛門　女

後妻　[illegible]　女

同儀　之四郎　仕事富主

実横田作左衛門尚道男

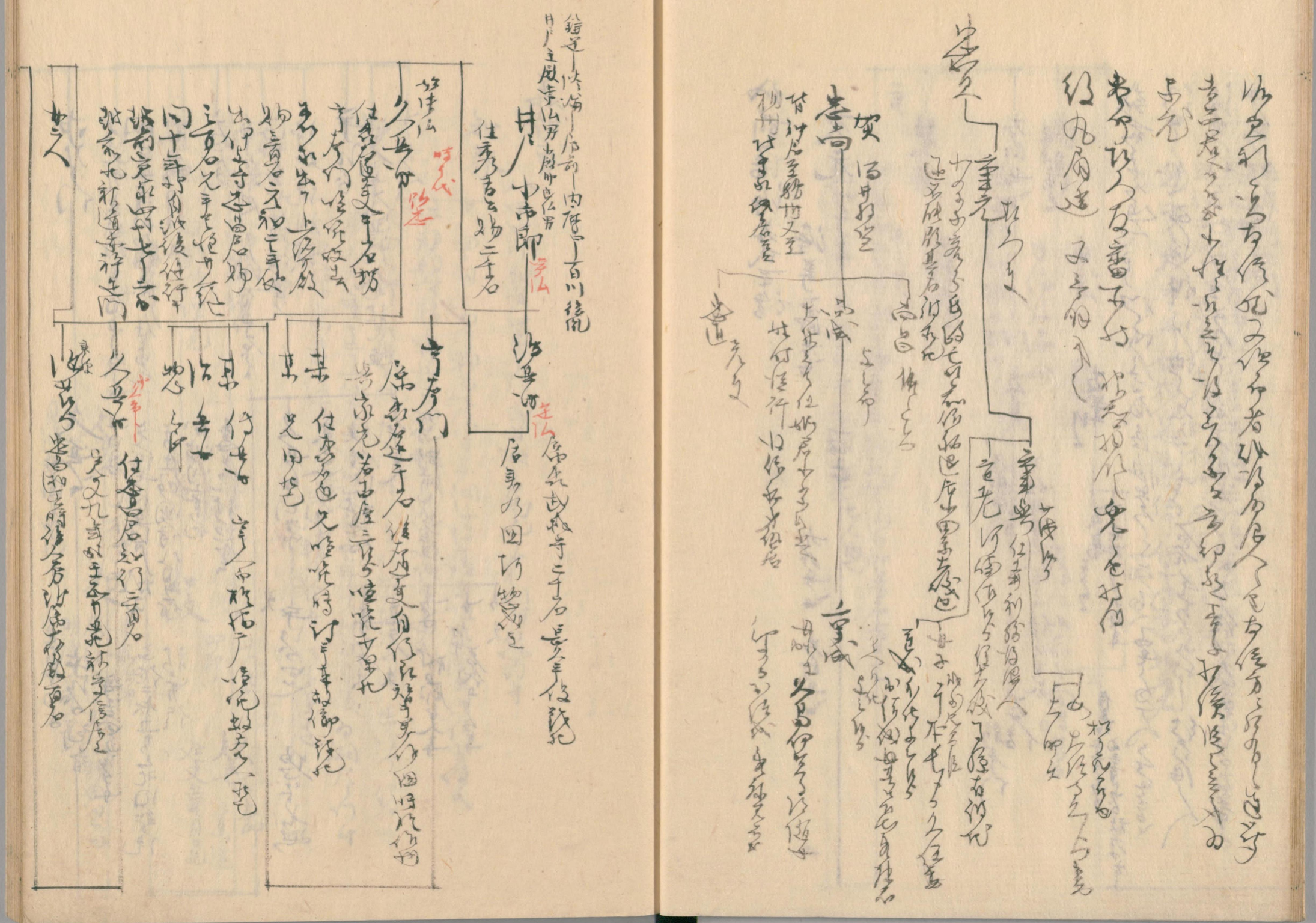
[illegible]

牧田河内寺善[illegible]　妻

女子　　文

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

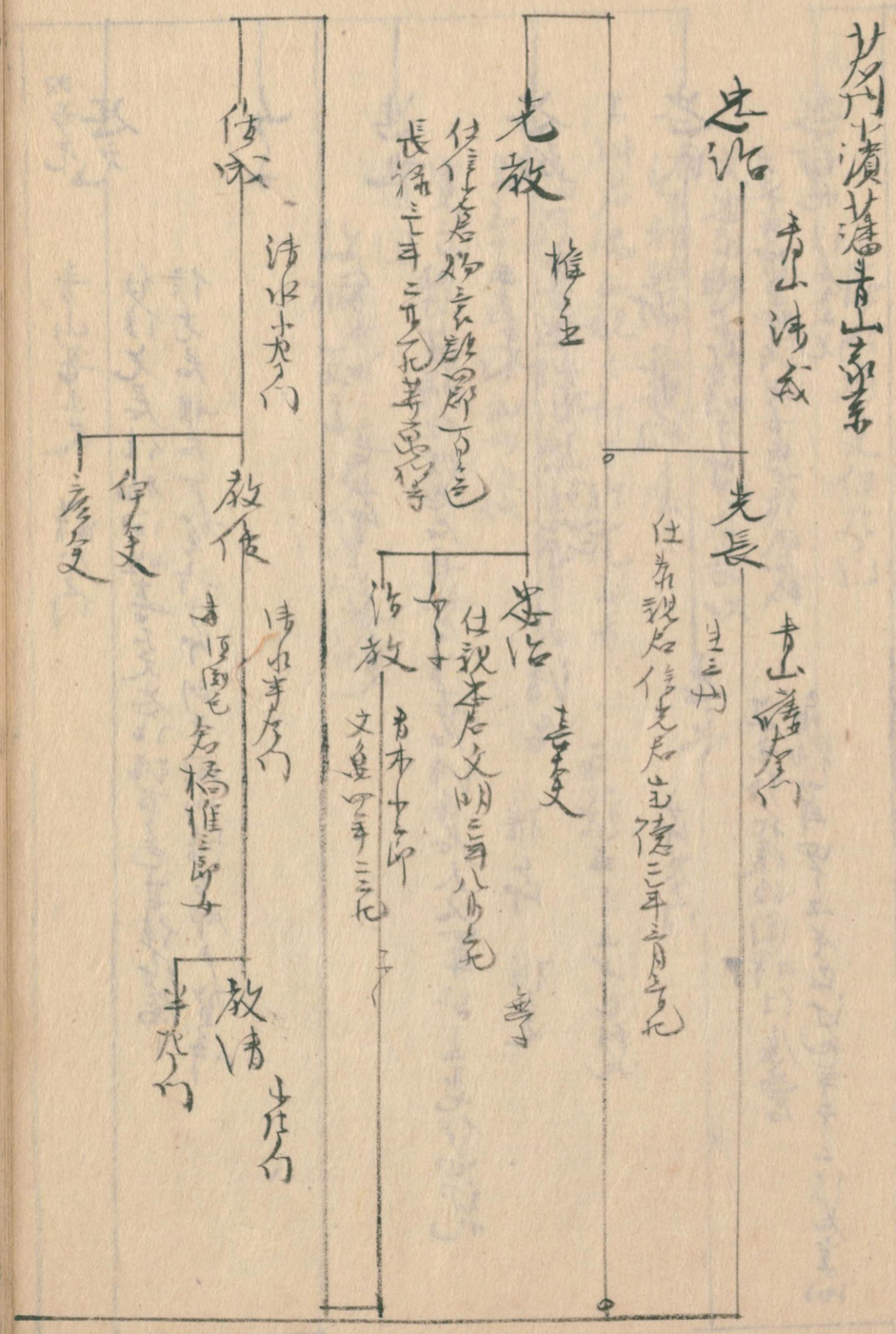
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

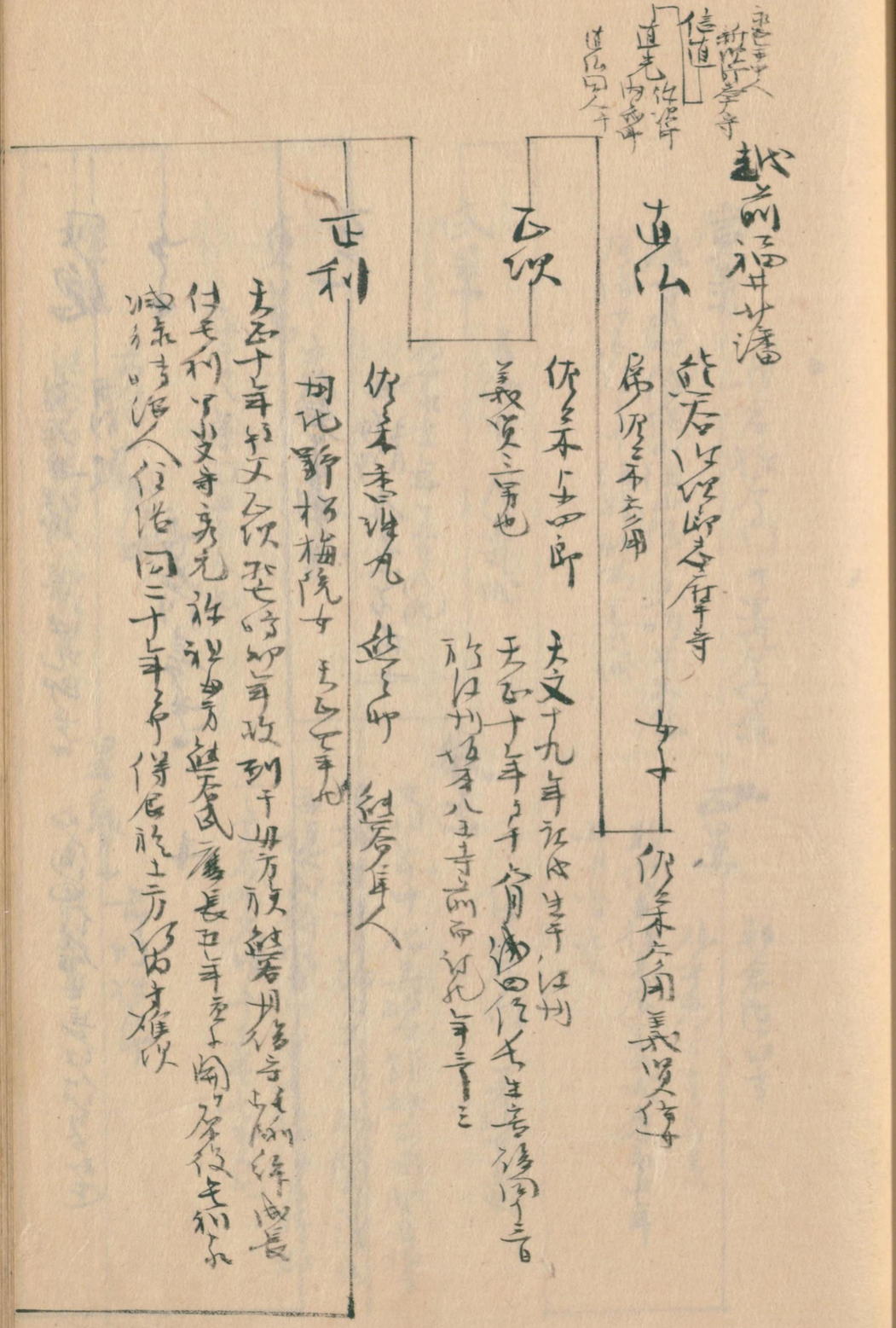
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

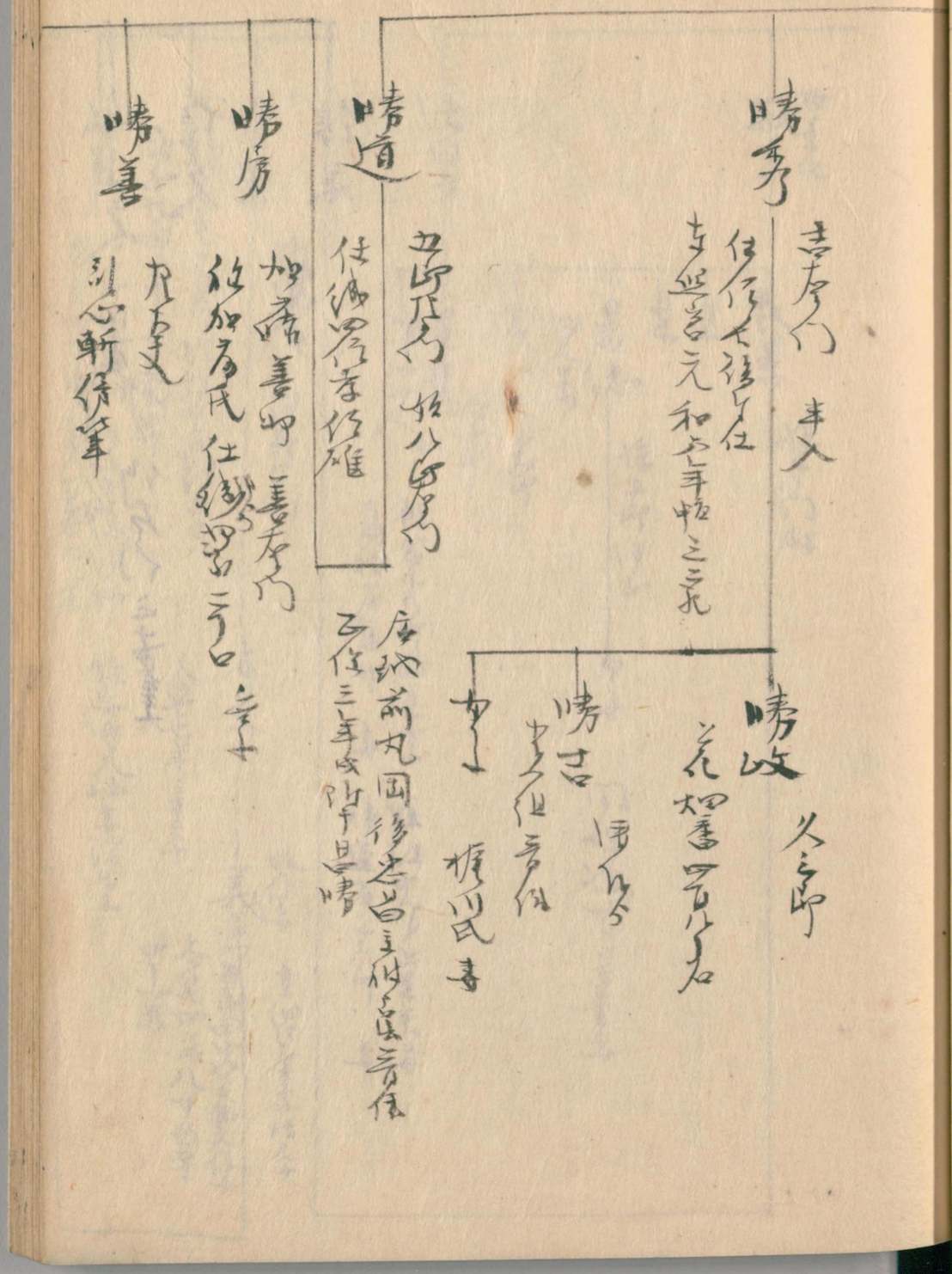


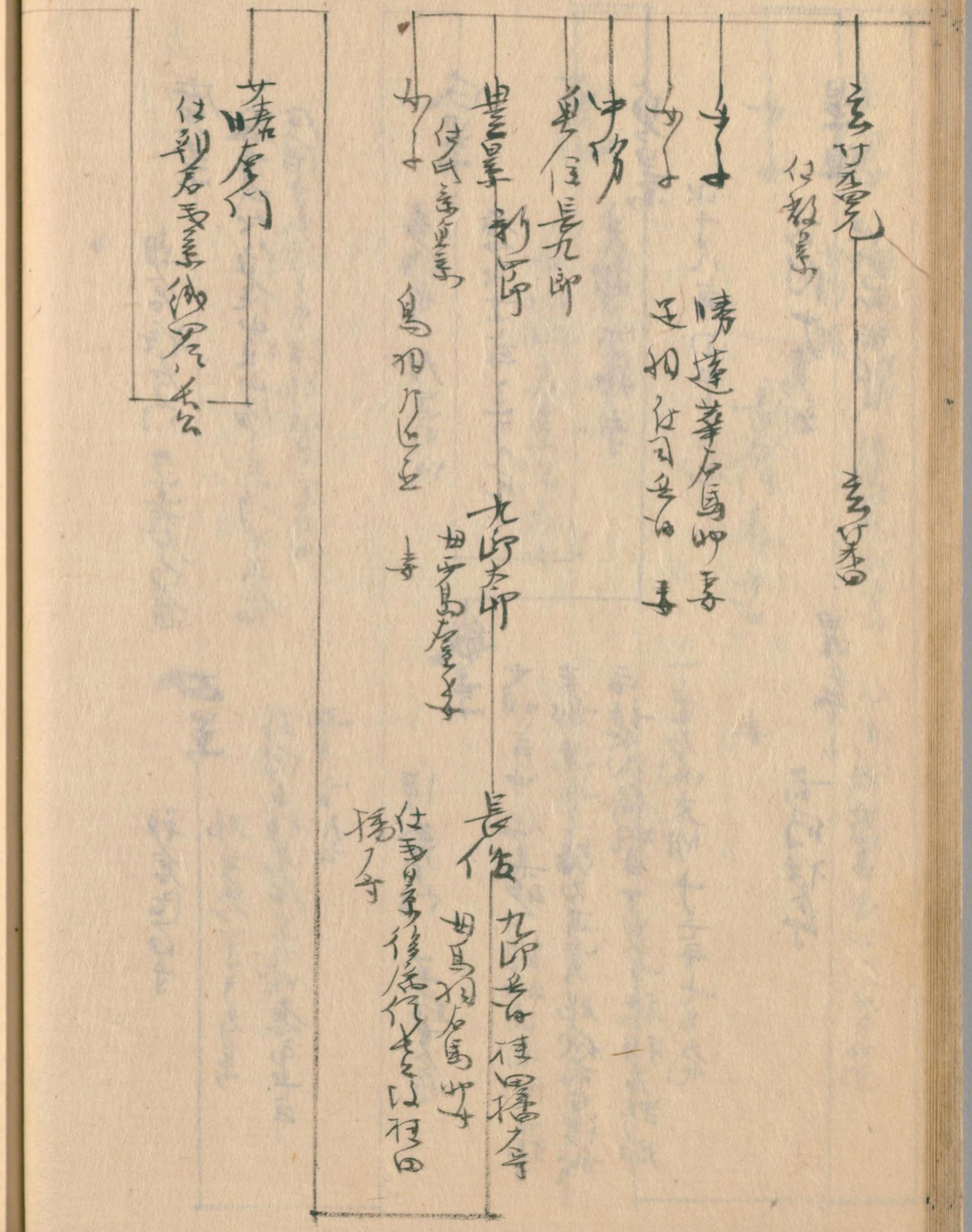
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

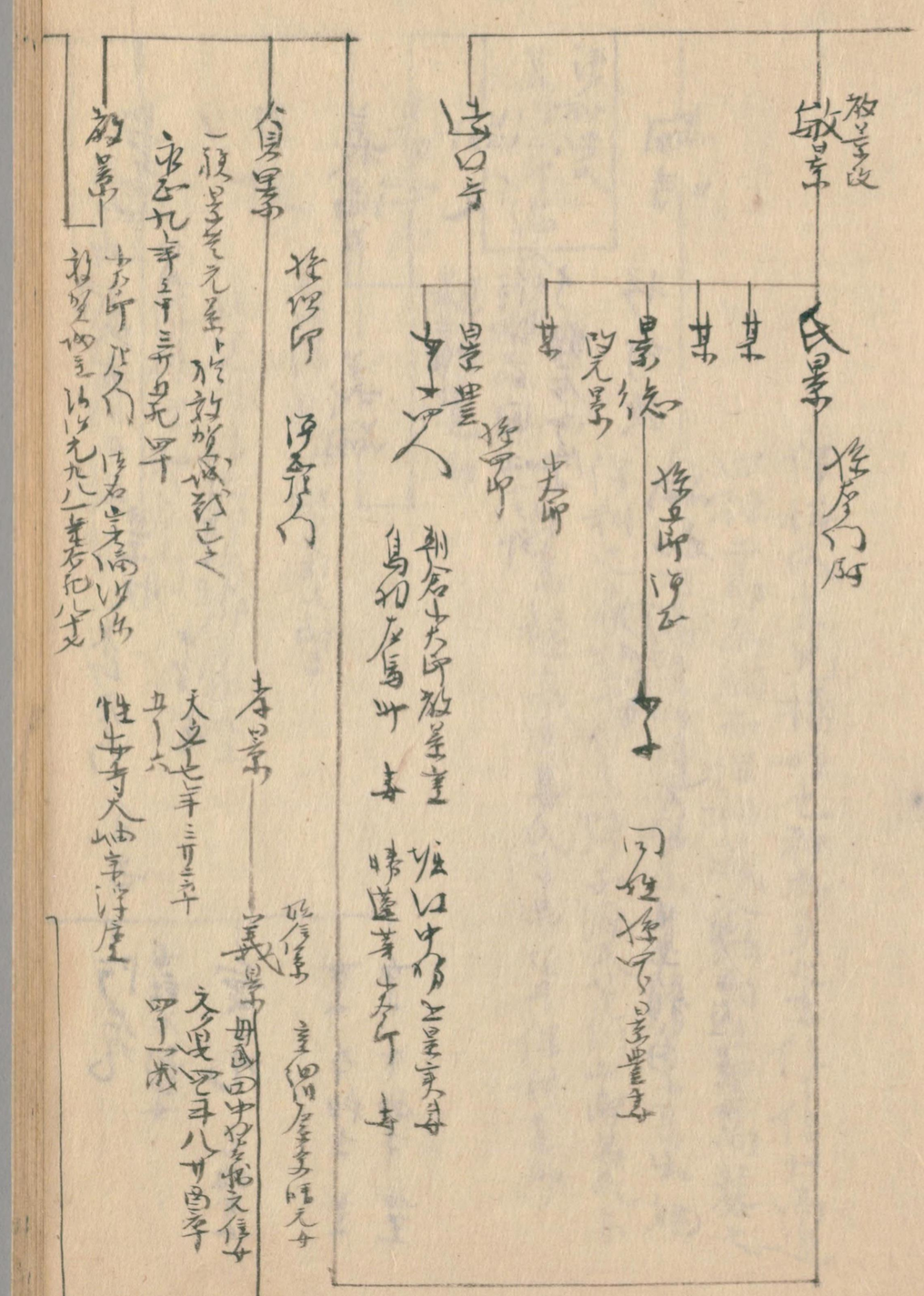


国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



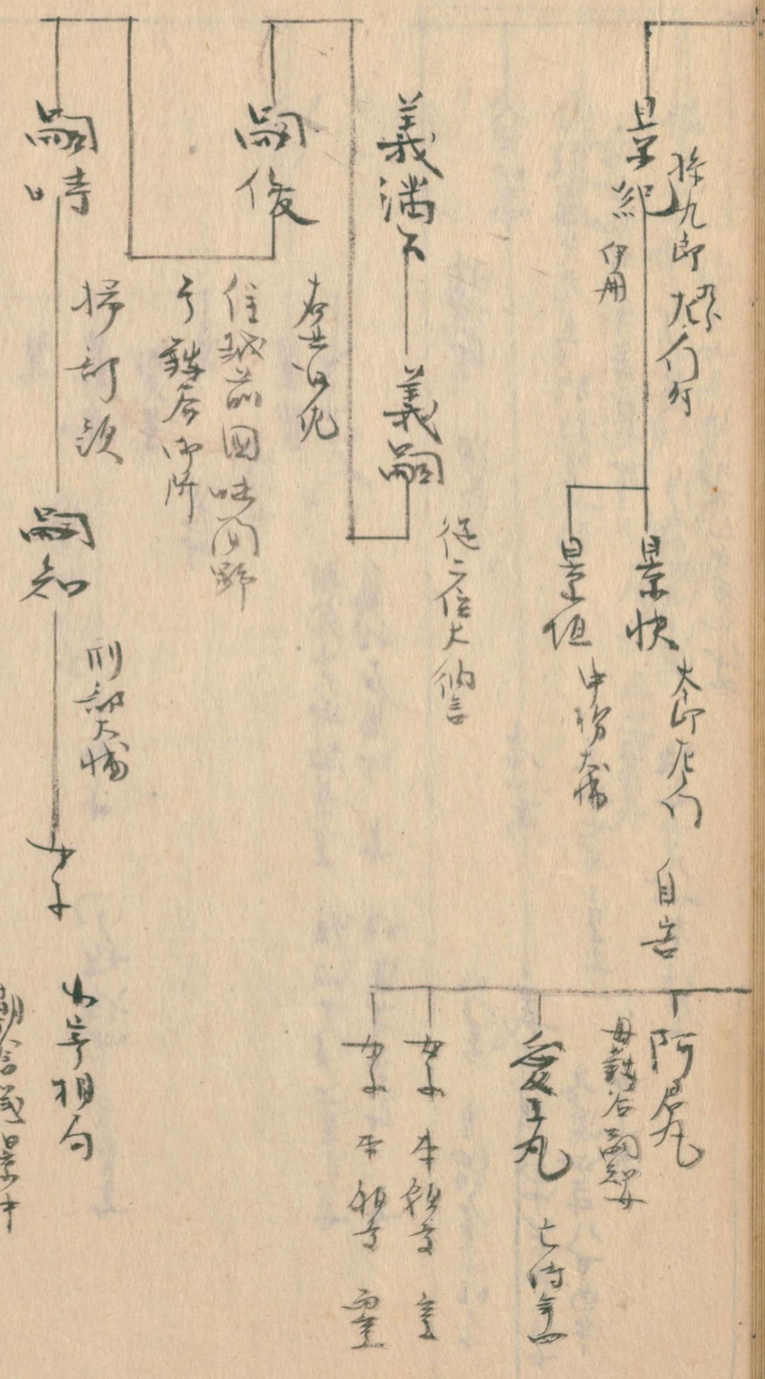


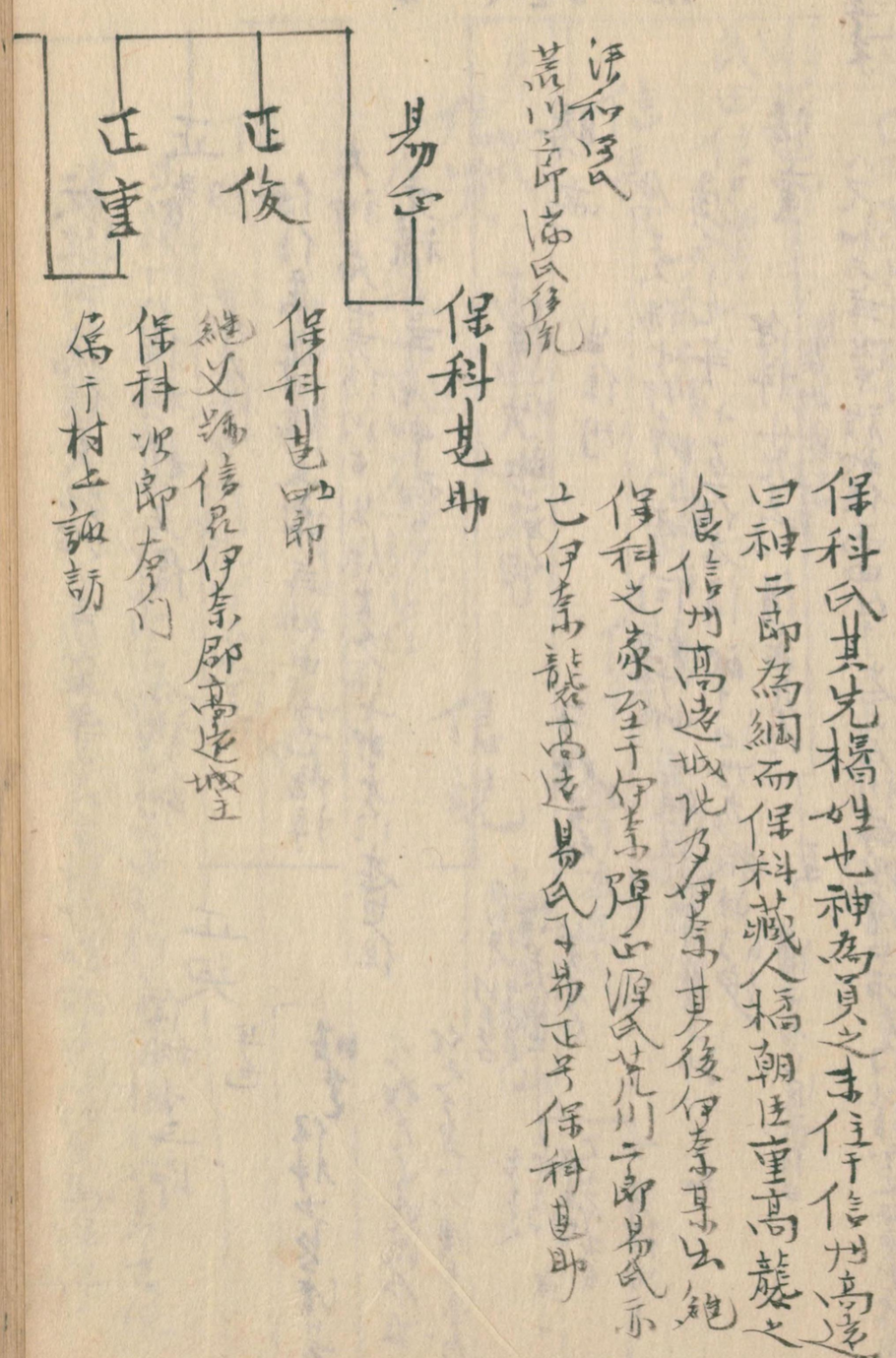
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

天文年爲信玄弘治二年寅卒

正勝　保科新兵衛　始新太郎

生信州

仕信玄　勝頼　天正十年於甲州亡後拜

大神君其後祠ニ出爲大久保七郎右門忠世但

文祿二年ヨリ千葉

正奥　保科小三郎

早也

勝重　保科中ニ於ニ漢口市ニ於

勝爲　保科助右門

生信州

爲大久保七郎右門忠世同新十郎忠隆但

慶七ノ九年ヨリ大久保忠隆配于山州彦根此時浪人

勝重　保科小左ノ門　漢口市ニ於

元和六年ヨリ於我後高田仕于忠高君仍命改漢口市ニ於此時ニ父母連至越前

役九星　一行振葉

某　漢口市ニ於ニ遊市ニ於

某　漢口ニ於ニ仕ニ於ニ出

高畠氏家系

新羅三郎義光後甲州大守

武田信光四男

信長　一条太郎　甲州文寺　三男

信行　高畠與次

始于高畠

信賢　高畠左近太郎

信行　信親　高畠道仙

属安藝州武田九馬頭道信

信弘　高畠新五郎　井上新五左ノ門

實安部井上新九郎公忠三男

去藝州往伊予國属河野四郎通直天正年中毛利ノ家吉相和故家喜使

其川隆業與伊予國於愛通直出ニ於ニ奔撫州時病也浴有馬湯傷

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

越前福井竹藩
相馬子爵
小栗

重成　小栗十郎
仕頼朝々賜常州真壁郡
小栗庄三千六百其他八百町也

重信　小栗治郎

朝重　小栗保治郎

左近

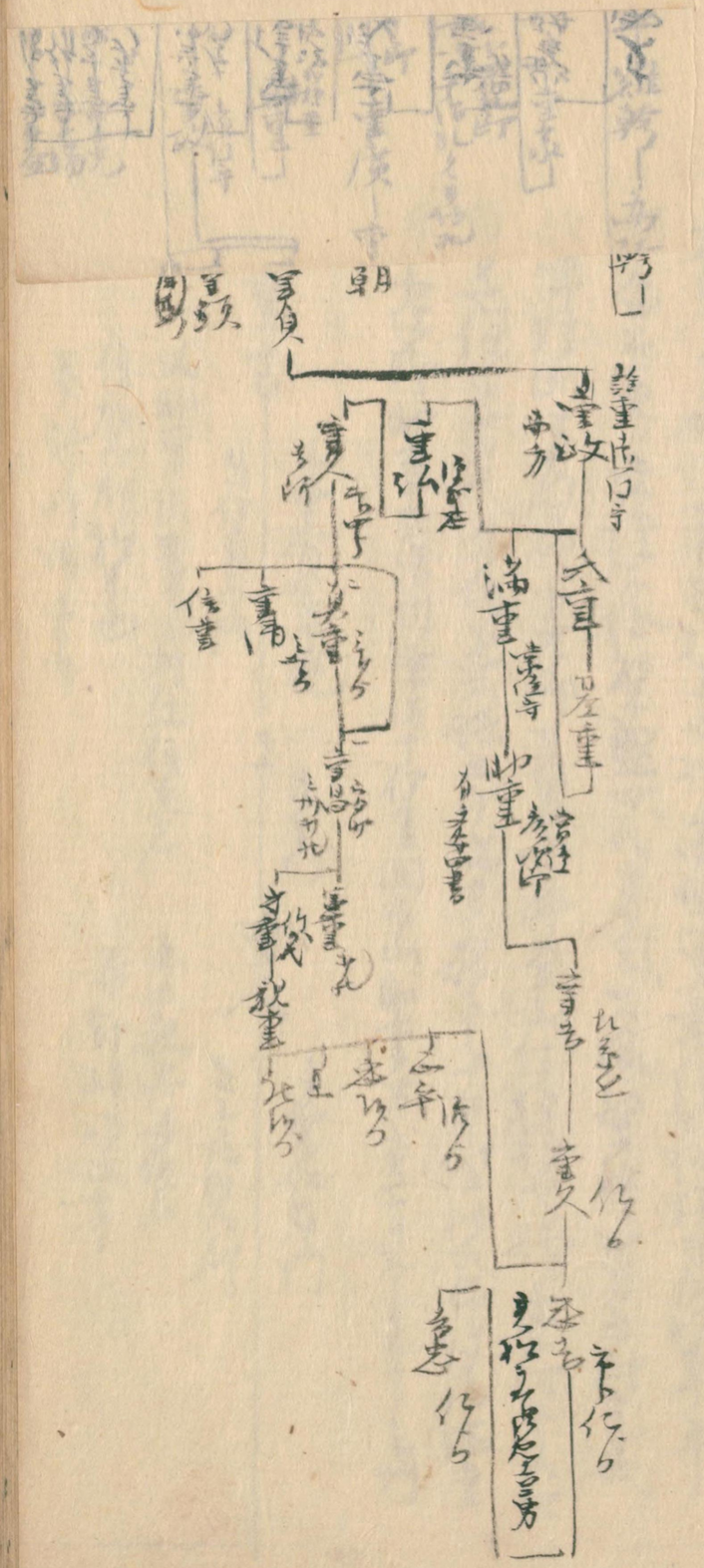
道夢

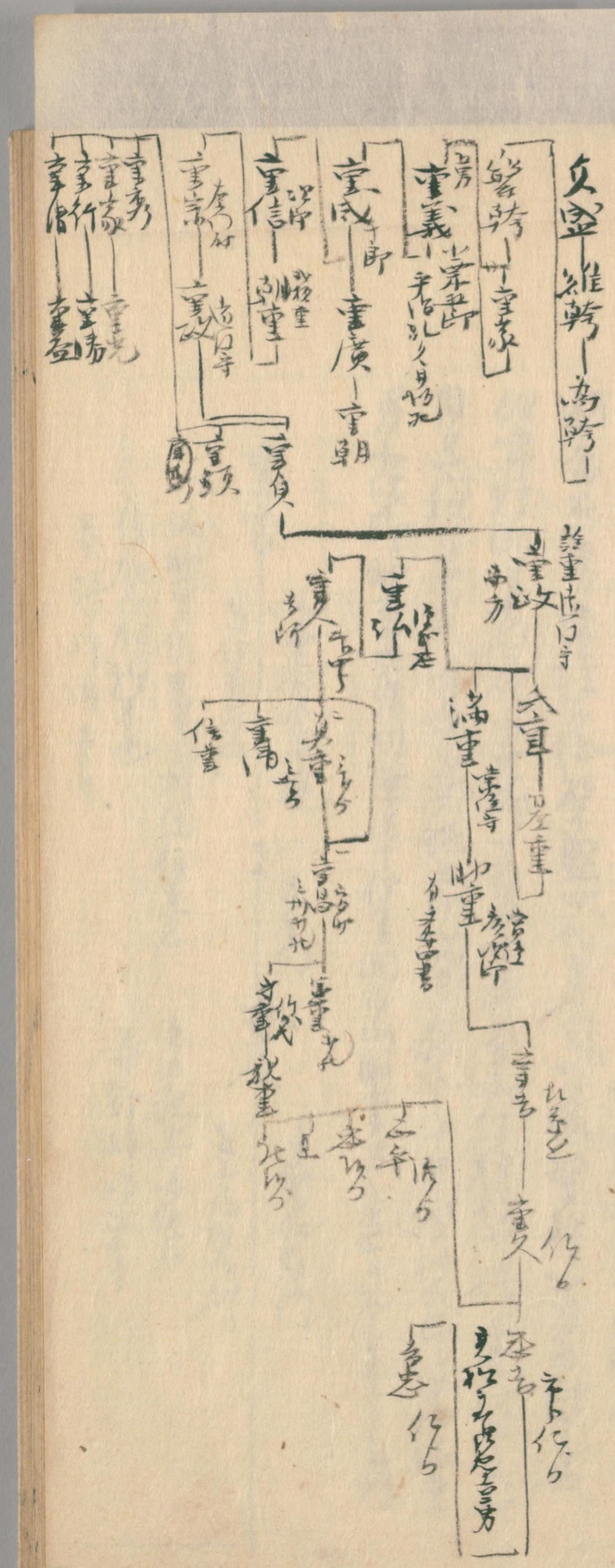
満重　修五郎
應永四年信米地之事背命而
封氏公進討之

此重　小治郎
上州保々始住豆州大山移于大山
仕清康公百五十貫[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



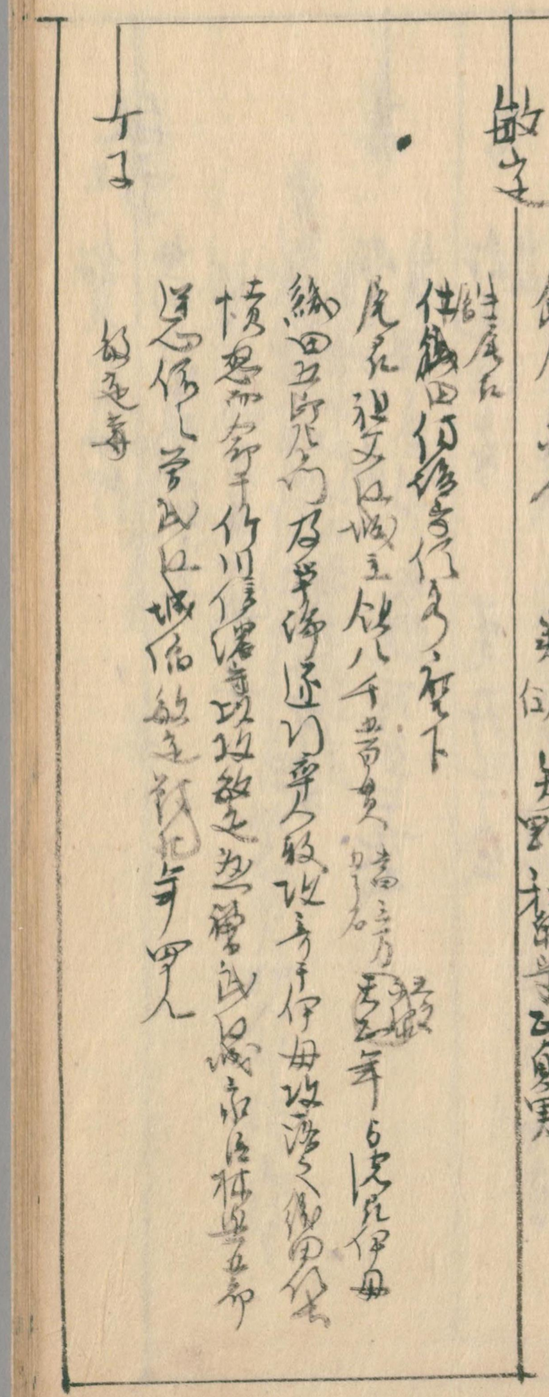


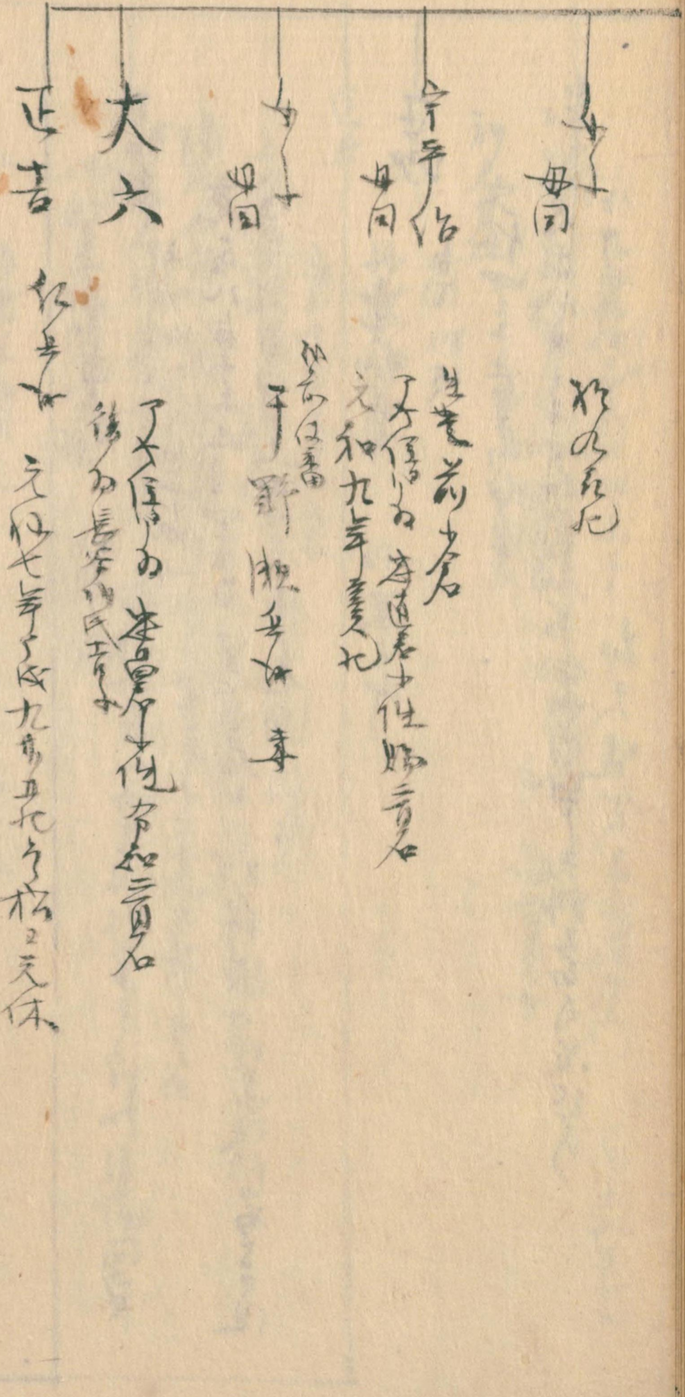
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

敏春 定 飯尾三郎四郎

母同姪 生母守敏家子

妻同姪 左馬助敏家子

常武江計陰後時之所討代年二十五歲

某 飯尾四郎五郎 母同 女兄所死十九歲

某 飯尾彦三郎 母同 女兄所死十六歲

女子 下所 伊彦 五郎 妻

宗喜 飯尾源四郎 石河忠助 矢野傳左門

母三州[illegible] 石河[illegible]門先女子

生尾花曾武江城

父祖戰死時年九歲 來于三州門石河氏忠助 然憚信長以

大神君上意至于信州 乃生長頃 秀康君聞其由緒文祿五年四月以嘗

憚意無請于

神君以秀康君召還宗喜到于下總結城 其後移越前陸奥大野傳左門

宗善 石河左門助 矢野五郎

母同 兄所住信州

文祿五年四月徵獲于秀康君至于結城 又移越前陸奥大野[illegible]

某 矢野左門助 兵部

慶長十七年[illegible]長光死殿直

寛永十一年[illegible]

[illegible]

女子 中根[illegible] 妻

清長

夫野推平

実中根金大夫　寿

実母夫野五郎門　金善子

他家善鍋仕　然而来居

号印姓

八木

孝徳天皇十五世　鎌三大夫

号印　鎌高清　弟二男

安高

八木新大夫　相模守

居住馬図八木人　改号八木氏

高吉

八木之郎

家高

八木四郎

泰永

八木又四郎

法名覚田

重家

八木作四郎

法名覚恵

家直

八木孫之郎

高重

法名道阿

直重

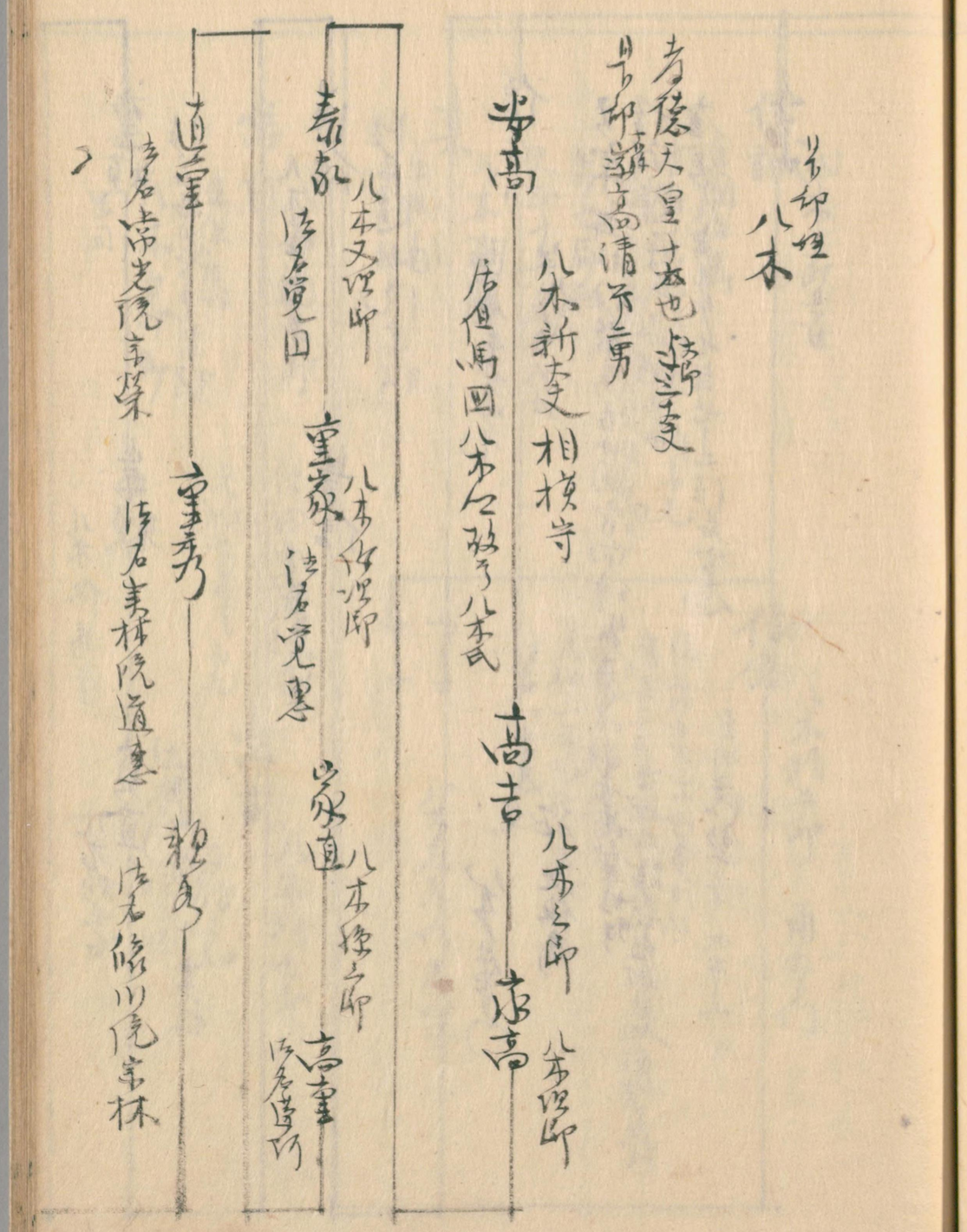
法名常光院宗榮

重秀

法名実林院道恵

頼長

法名能川院宗林



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

重頼
法名曹源院宗材

宗頼 八木但馬守

貞直 八木新五郎
法名 淅川寺宗林

道信 八木但馬守
法名 隨琳院宗秋

豊信 八木新五郎

信貞 鹽屋五十四元
生但馬
天正十年初紫秀吉中國奔向時出仕之
始為鹽屋氏子繼其家
慶長八年壬午九年七月二日法名空志

光政 八木庄左衛門
生但馬
慶長三年始拜
大神君賜金色三百石
大御番組以
元和七年九月二日

女子

信職 八木五郎五郎
生因但馬
豊臣秀吉但州乱入時与光
十五石云其養光信貞供属于
秀吉郡戦功
天正十六年終死去

信常 八木新五郎 角左衛門
生但馬
仕秀吉公
慶長三年始仕田中兵部大輔吉政後到于筑州
公留不賜六百石
元和二年己丑五月二十五日
法名 金蓮

女子
女子
八木庄左衛門 光峰

某 八木主膳
生但馬

常自 八木新九郎
生但馬
仕田中筑後守
元和七年辛酉九

常吉 八木新七郎
子孫不知
仕本多中務大輔

某 八木五郎郎
生因
子孫不知

常房 八木角成 角房門

生但州

仕田中筑後守於筑後公曾平少卯

四百石物頭 田中家亡後

寛永十年三月来于紙前国仕

忠昌主内酒井三左門徒方

法名月忠院正道円居士

昔由 平六

実畑又右衛門經元三男

為光通主出仕卯二百石後去曾主時

加百石合三百石

法名高巖院清海閑信士

當房 百成 平六

実畑津田出右衛門三男

法名洞月院蔵之叔意居士

女子 春子當房妻

梅忠院法名常住大師

睦雅 郡右門

実川村右衛門 二男

法名大雲院暢之 睦雅居士

女子 仿之本山右衛門 妻

真如院妙観日住大師

女子 郡右門妹

于歓喜院信之妹父大師

女子 高畑金太夫 信當妻

津口御右門 妻

于普照院光月知明大師

睦元 平六

于照林院徧之方大居士

女子 矢 于夏月示卯妻

加藤武夫 妻

一両家

了勝寺了諦妻

于家室真照大師

于浄花院秋慧光大師

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

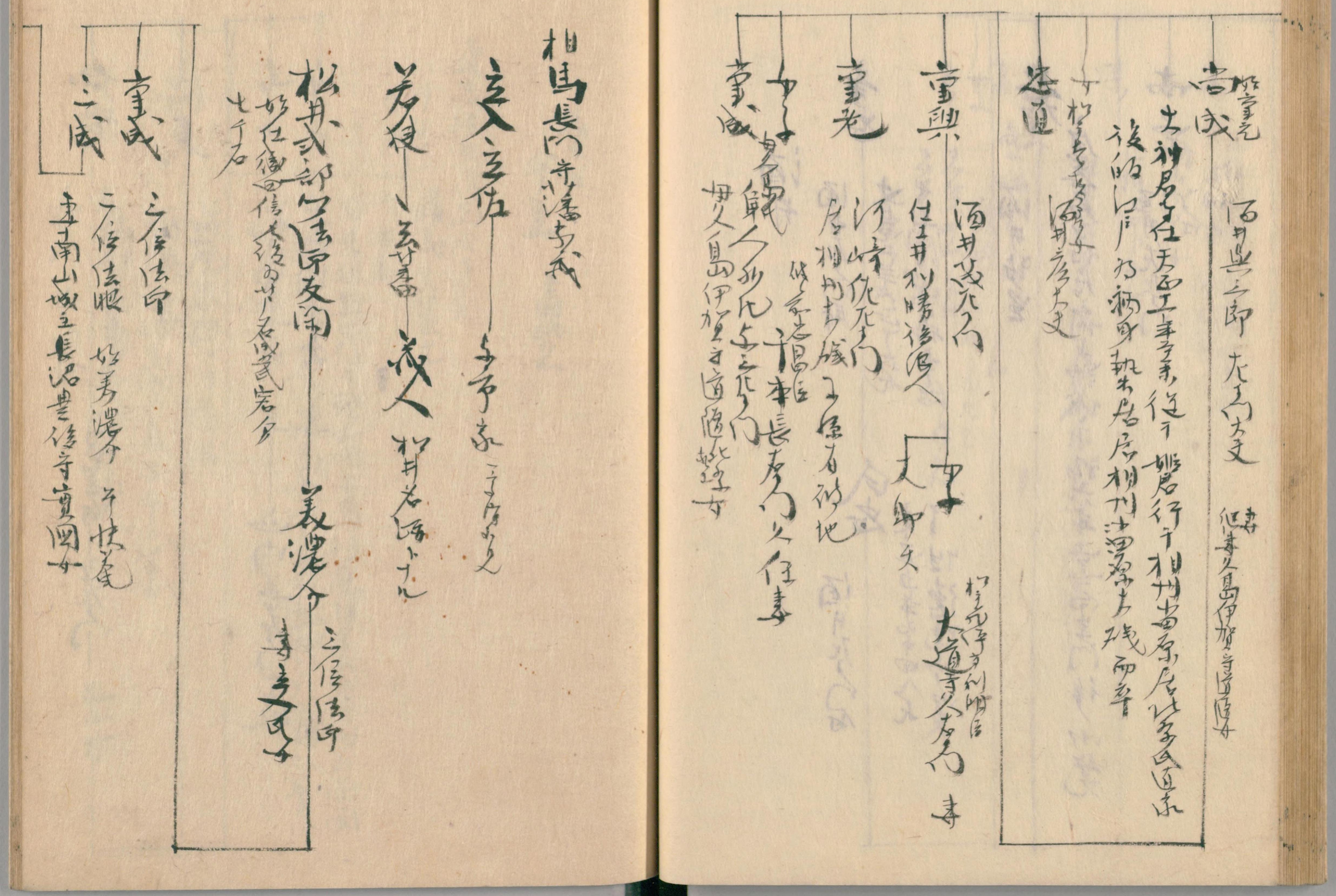
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

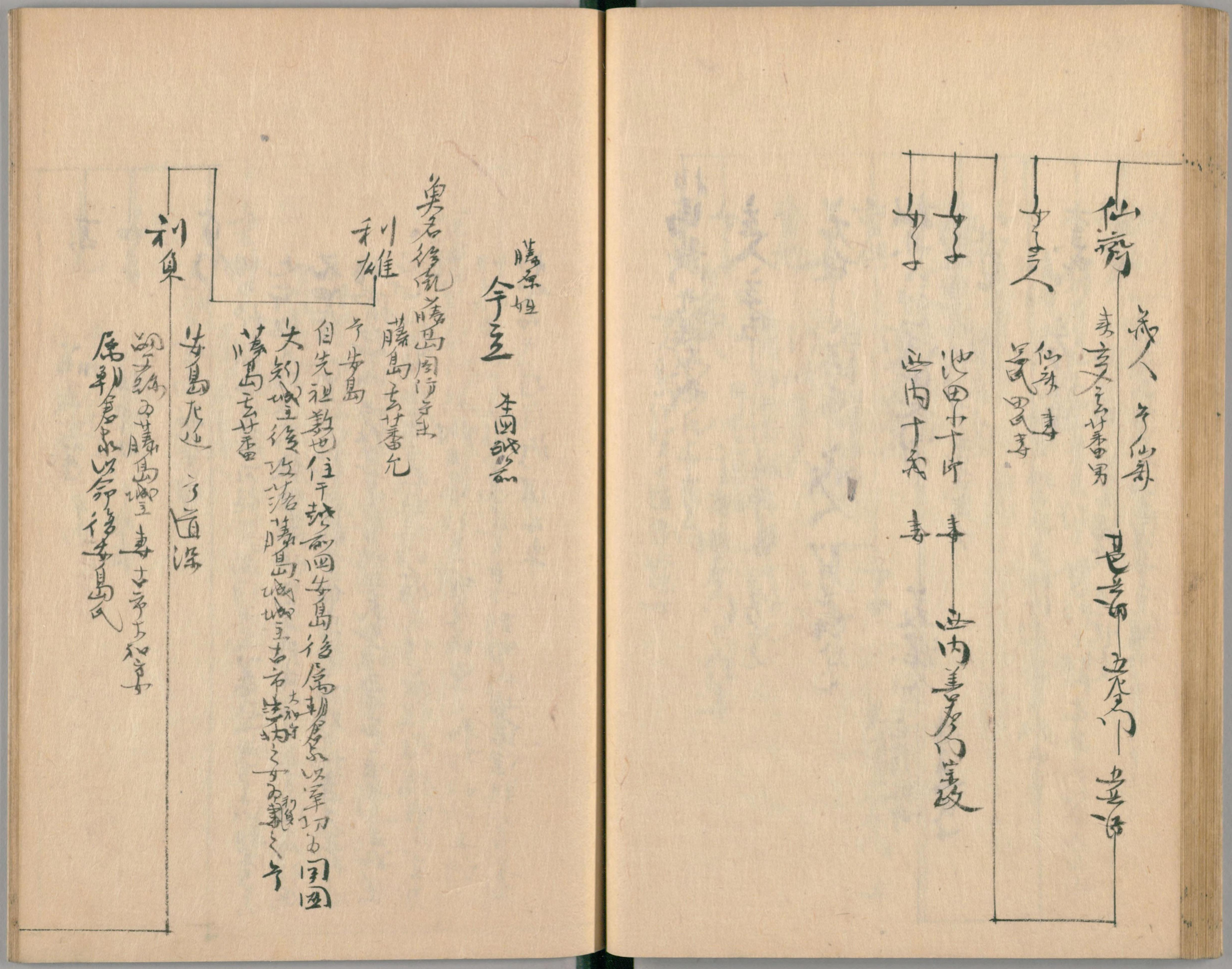
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

酒井
酒井左衛門尉
忠重
文禄三年甲午六九
于山洞院殿号嘉嘉
酒井
酒井左衛門尉
忠次
文亀二年壬戌八九
于性徳院殿号寛
酒井
酒井左衛門尉
忠世
慶長十六年辛亥八月十五日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠利
寛永十八年辛巳閏四月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠勝
寛永十年癸酉正月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠吉
寛永十年癸酉正月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠清
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠寄
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠挙
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠恭
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠当
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠寄
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠挙
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠恭
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺
酒井
酒井左衛門尉
忠当
寛文十二年壬子閏八月廿日卒
于大樹寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

某

藤島三竹番 早也

少子

住柳ノ瀬

貞仍

八十島助九十門

始為越前國平泉寺所住十八歲時兄弟廿番死去無男子以朝倉或某之命継兄跡為其後室於毒王丙元年至百或某侍居後為石田左吉三成年其後以三成次年仕秀吉乃賜鹿三千石其後願越前府中城無堪尾當力之晴守之加秩五千石屢七兵年極居石田三成故閑原合戦敗北時遁其場無程雖搗堪尾當力藤堂佐渡守請術其罪於美濃尾藤堂之戦功許所其請更藤堂高虎其後為高虎之臣下到勢州安倶律賜令力者剃髪而号道除於律而卒

宜重

八十島加賀左衛門

妻柳村氏

住藤堂和泉守賜于右然有故退藤堂家居勢州上毛亦到于和州然柳平但馬守直富知宜重以廣安二年上招于越前大野可進知行于右旨也於是往于大野然當時賜五百石於大野而死去

重仲

八十島十成

不住何故一生浪人

大勤之時代為沛持尚上方

子

住伊勢 兄妹壽

今立大左衛門

住越前光通君

二亂

女子

甲府十年
瀧口平太左衛門

壽 宗源

般英

今立助左衛門

母松村氏子

父孫相續仕松平但馬守道良然却父正亂以般英為聟引取越前
自是仕先通知賜三十石月俸吉後 吉高時加賜百石 吉邦時又加
五十石合百五十石

女子

松平但馬守道良臣
滿田十左衛門 正純壽

女子

和州郡山城中
下川平角 壽

女子

滿田十左衛門 正純継壽

貴林

今立權左衛門

壽村田平左衛門 吉秀女

吉高公時父家賴百五十石

能仏

塩谷孫四郎

為塩谷又左衛門
養子

溫

兩表太郎吉日

為兩表偏左衛門
養子

女子

矢

女子

矢

英勝

今立六左衛門

實村田平左衛門 吉秀五男

宗祖公時家賴

安信

五郎八

女子

平本藩七郎

壽 今良元

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

加藤

室由

加藤武彦門

戦前家三百石

妻四中傳彦門女

室之

武彦門

三百石

妻熊谷[illegible]彦門女

兼加藤[illegible]彦門女

室常

丑無日

百五十石

妻市村[illegible]彦門女

室久

武彦門

妻梶又[illegible]彦門女

妻[illegible]上梶[illegible]朝仲[illegible]

百五十石

紀史

始室侯

武彦門

妻松原七[illegible]

妻水[illegible]

継妻同人

戦前家百五十石

宣陣

加藤彦作　百五十石

実土岐伯耆権守[illegible]　二男

東上屋十郎[illegible]

黄豊

乙之助　[illegible]

[illegible]

[illegible]

子本

加藤郎人

山上

鐘足

本比等　従二位左大臣　子傳海云

房前　正二位参議中納言大将

真若　河辺左大臣

[illegible]　従四位下伊勢守

豊澤　従四位上備前守

村雄　従五位上下野大掾　出羽守従五位下

秀郎

千常　鎮守府将軍　従五位下　左馬頭

公脩　金人頭　鎮守府将軍

兼光　足利陸奥守左馬頭　住野州足利

頼行　従五位上足利太郎

[illegible]　従五位上足利[illegible]

成行　従五位上足利大史

家綱　足利[illegible]太郎　下野守

[illegible]　[illegible]　[illegible]

高光　五男綱　山上五郎

[illegible]光綱

[illegible]和元年始住野州山上

高光　山上太郎

光隆 山上五郎

重義 五郎

秀純

時光 四郎

時定 陸四郎

秀光 五郎

高家 山上大郎左衛門

家親 山上藤内左衛門

家行 山上大郎五郎

常行 山上大郎五郎

高秀 山上宮内少輔

元弘二年属足利尊氏々

秀綱 山上八郎左衛門

高行 山上藤内左衛門

属鎌倉持氏

高兼 山上十郎左衛門

行信 山上淨西

光高 山上藤内五郎

高兼 山上十郎左衛門

大文十五年丙午歳

属成氏於足利而住

經高 山上兵庫助

經光 山上甚左衛門

属蜂須賀河内守賜四百石後退身

康長元年軍住秀詠君賜二百石

同六年于且移城前後行賜三百石

同十九年如大伊後河属本多伊豆守富正

両役後行同廿七年而以深而加五十石為

忠昌君所法名傳翁永心居士

延悦 山上十左衛門 康長九年丁巳生

陸加五郎

元和六年庚申徴忠昌君賜二百石後父卒嫡賜三百五十石後住于

光通公為大番島田大学組万治二年己亥八二九年五十六于相模

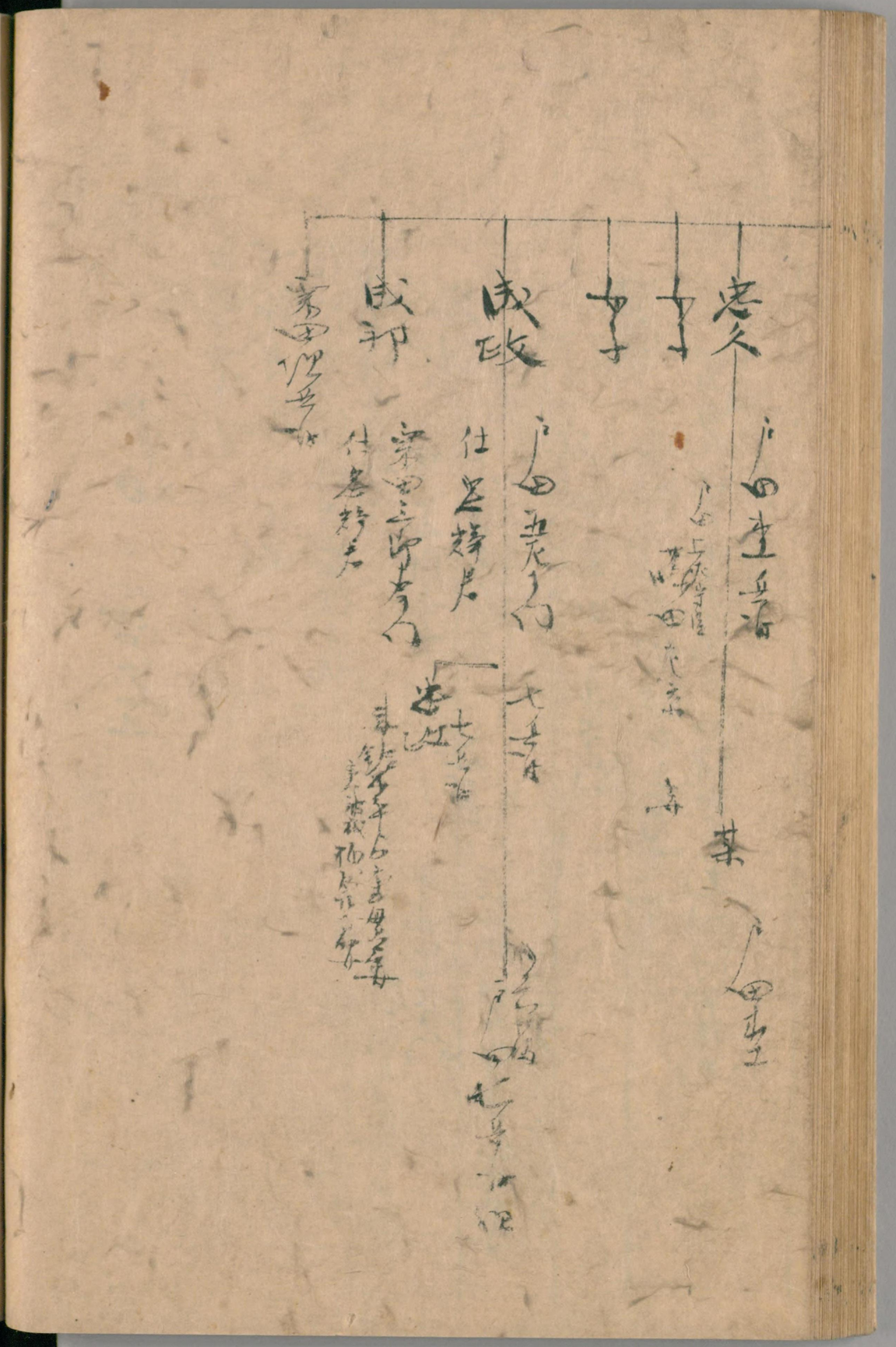
若内晴五日寿

妙母

某 山上甚十郎 加吉 二百石

アヤ住ヨリ徴光通君賜月俸 貞享二年初六十郎高職少時以暇退身

838
297
116



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用